

# 平成25年度 事業報告

社会福祉法人 慈愛園  
熊本ライトハウスのぞみホーム

施設種別	障がい者支援施設
施設長名	山口 初子
職員定数	38名(非常勤を含む)
利用者の状況	生活介護支援 定員 40名(現員 40名) 施設入所支援 定員 40名(現員 40名) 短期入所支援 定員 2名、日中一時支援 定員 2名

## “ 自分を愛するように 隣人を愛しなさい ” 聖書

「キリスト教の愛と奉仕の精神」を基本として、一人ひとりの生命の尊厳を大切にし、利用者の方(神さまから託された、大切な人)の意向、適正、障害の特性等を配慮した個別支援を行います。より家庭的な環境の中で、安心した穏やかな日々の暮らしを行っていただけるよう共に歩みます。

### (1) 施設運営に対する総括

平成25年度も社会福祉法人慈愛園のキリスト教の精神を基盤に、“利用者が主役・共に生きる”を目標に「家庭的な雰囲気の中で、快適で穏やかな生活・お互いが支えあい、励ましあう生活を」という方針を継承して事業を行った。毎日の朝礼・連絡会・ミーティング・各種委員会等を通して、職員間の意思疎通を図り、職員が留意すべき利用者の生活・心理状態・健康状態等の基本的な情報共有に努めた。また、個別支援計画を基に、個々のニーズを大切に個別対応で寄り添いながら福祉サービスを提供するという、基本目標に沿った施設運営を行うことができた。

平成25年4月に「障害者総合支援法」が施行され、「障害程度区分」から「障害支援区分」への見直し、認定調査が行われることとなった。報酬単価や加算等に大きく影響し、施設運営に反映されるため、職員は、より細やかな支援状況を共有し、学習を重ねた。

その結果、収入増につながり、より豊かな生活支援、人員配置ができるようになった。また、大切な理念の継承等に努力し、人材育成に力を入れた。特に「虐待防止」、「身体拘束について」、「不適切な支援」等については、数年前から意欲的に取り組み、学習を重ね、意識の高い職員組織を目指すことができた。

この平成25年度は、「熊本ライトハウス創立60周年」「熊本ライトハウスのぞみホーム創立20周年」。後援会「愛育会」が、創立40周年を迎えた大切な節目の年であった。

9月23日に、記念式典・交流会が行われ、盲・ろう卒園者や職員OB・ボランティア・関係機関の方々約300名が集り、旧交を温めた。それは、熊本ライトハウスの歴史と施設の役割、特に最重度の成人者の生活の場として「のぞみホーム」が開設され20年目を迎えた。重要な建設

費の20年間の償還金返済も、後援会「愛育会」の協力で完済できた。

施設環境整備については、この創立60周年の節目に焦点を当て、過去5年間に渡って計画的に施設整備改善計画を順次進めてきた。新しい福祉ニーズに対応するため、老朽化建物等建て替え、高齢化に伴うユニバーサル対応の建て替えや安全性の高い浴室に大改修。園庭の整備、非常通報設備や全体的な電話回線等の改善課題が、トータルに改善できた。

この平成25年度は、第5次施設整備改善計画をもって、新しい福祉制度に対応できる施設整備が完了し、今後の施設運営がより安定的な発展に繋がる節目の年であり、神さまのご計画の中で運営できた感謝の一年であった。

特に取り組んだことは「安心・安全・満足度の高い暮らし」を提供するため「年間の職員研修計画」を立て、リスクマネジメントの視点に立ち、各種委員会・危機管理・安全管理意識の強化に努めた。また、人権擁護・地域との交流を意欲的に行った。

併設の「熊本ライトハウス」は、熊本県で唯一の感覚機能障がい児施設である。新しい福祉制度改正により、福祉型障がい児入所施設となった。盲児・ろうあ児や他の障がい児（知的・発達障害・ネグレクト・被虐待児等）を受け入れ、機能的でユニバーサル対応の新築のホームは、小規模施設の機能として貢献できている。

「障害者総合支援法」が施行され、不安的な情勢の中での課題も大きい。今後、見直しや検討が重ねられ、障がい者を有する人に対して、さらに優しい制度内容となって欲しい。

今後も、期待される特色ある「のぞみホーム」を本体施設としながら、児童併設のメリットを生かした総合的な組織運営の一体化が求められる。限られた財源・人材・社会資源の中で、最大限の効果を上げる努力の継続が、今後の課題である。

平成25年度は、第5次施設整備改善計画に対し、職員全員で取り組み改善を行った。

のぞみホーム女性棟の雨漏り改修工事

デイルーム備品整備（日中活動の充実のため）

テーブル・椅子・ソファ・整理棚等の設置

施設全体的な、非常通報設備及び電話回線の改善工事

各老朽化ホームが新築され、一体的な非常通報と、消防署への専用通報回線が整い、長年の課題が改善できた。

健康機器の購入（利用者の日中活動での体力強化、ウォーキングマシン）

薬品棚・お茶の給湯機設置（安全性を高める、衛生的な水分補給）

## （2）利用者への福祉サービスについて

平成25年度運営方針のもと、全ての職員が利用者の豊かな生活のために最善の努力をした。また、個別支援計画に従って日常支援動作の支援・サービスにご家族の理解と協力を得ながら、全職員で取り組んだ。特に、40名の利用者の方の誕生日外出を実施し、担当職員と食事や買い物等の豊かな時間を作り、満足いただいた。

さらに、入所利用希望の相談や見学受け入れについても意欲的に対応し、地域に貢献できる施設の役割を担うことができた。

1. 利用者の方は、重度の知的障がいに加え、視覚や聴覚障がい・自閉傾向・パニック行為等の問題や癲癇発作、緊急医療ケアを要する人が多い。利用者の加齢による通院や入院等が増加傾向にある。職員は、随時、ご家族に対して共通理解を深める努力を行った。特に、月1回の大掃除や毎食後の口腔ケアに十分な時間をとり、健康維持・感染予防に努めた。
2. 職員は「障害者総合支援法」の制度内容や、利用者の方に質の高いサービスを提供するため、意欲的に知識や支援技術を習得できるように、職場内研修を強化した。特に「虐待防止・身体拘束について」のマニュアルに従って学習会を強化した。また、毎朝の礼拝時の連絡報告や朝のミーティングに重点をおき、夜勤者の報告や利用者の身体・精神状況・家族連絡・ホームの予定等を話し合うことで、職員間の意思疎通を強化した。
3. 福祉サービス提供施設に求められる危機管理の取り組みとしては「運営委員会」を中心に「リスクマネジメント委員会」や各種委員会を定期的に関き、利用者の方が安心して生活ができる場の提供に努めた。また、相談・苦情についても、随時、適切な対応ができるように心がけ、第三者委員会の方々との情報交換の機会を持ちながら、現状の報告を行い、高い評価を受けた。

#### <生活>

今年度も恒例の活動に加え、日中活動をグループに分けて、担当職員の創意工夫で利用者の方が楽しみ、生きがいのある満足度の高い活動を展開した。

(アルミ缶つぶし 紙類の回収 ローソク制作 木工制作 園芸等 )

定期的な利用者会議や給食委員会への参加を通じ、利用者の意見が反映されるよう心掛けた。

#### <食事>

- ・配膳や食器の工夫、食べ方、誤嚥防止としての嚥下食やムース、とろみの工夫・調理の工夫について、内外研修を行い安全な食事提供の意識の向上に取り組んだ。
- ・給食委員会に利用者の代表が参加し、献立の希望や意見が反映されようにした。行事食やバイキング食にもチャレンジすることで、喜んでいただいた。

#### <入浴>

従前の内容を再検討し、より安全な入浴を提供するため入浴業務の再チェックを行う。

失禁者に対しては、随時入浴やシャワー浴を提供した。常に安全な人的配慮や適温の確認を行った。

浴室がリフォームされ、脱衣場も広く、床暖房や転倒対応の床クッション等により、安全性が高まり利用者の方が喜んで下さっている。また、職員の入浴支援についても、従来と比べ、負担が軽減されている。

#### <理・美容、身だしなみ>

今年度も、個人の希望や社会参加として、地域の理髪店・美容院を利用したり、自分で衣類

等を選んで購入できるような機会を提供した。

#### <朝の会・利用者会議>

ラジオ体操、今月の歌を通して、利用者の方が表現できる活動を行った。利用者の方に対する情報提供や、利用者の方の意見や意向を伺う時間を、十分に確保できた。

### (3) 健康管理と安全対策について

利用者の方は、健康管理が困難な人が多く、共に生活することで食事・排泄・睡眠状態など一人ひとりの体調観察を行った。また、医療機関やご家族との連携や、職員間で情報を共有し、予防・早期発見・早期治療に当たることができた。

特に、毎日実施する口腔ケアによって、感染予防に通年努めた。インフルエンザに2名が罹患したが、予防接種と免疫力の高い食事のおかげで、蔓延防止ができた。

さらに、嘱託医による健診を行うことで、利用者の方の身体的・精神的安定を図るなど、日常の健康管理を強化した。

嘱託医健康診断 : 内科(25年9月5日 26年3月6日)  
精神科(25年8月9日 26年3月19日)

成人病検診 : 成人病検診車来園 (25年12月12日)

\*のぞみホーム居室・ホールを診察室にして、生活の場で受診。

高野病院巡回診療 : 3ヶ月に1回

痔疾患・便秘・排便コントロール等について相談、調剤。

外来受診が困難な利用者に対して、居室で受診・治療。

\*アニマルセラピー(病院スタッフによるボランティア)

犬とのふれあいや交流を通して、心から楽しんで笑顔になれる時間。

緊急受診が多く、受診の協力を依頼した。

\*熊本市民病院、日赤病院、神水病院、青明病院、歯科、皮膚科等

平成25年度の入院者 : 若年性リュウマチ 1名、誤嚥性肺炎 2名

肺気胸 1名

安全対策の強化として、ヒヤリハットの活用やリスクマネジメント委員会を定期的実施し、職員の安全に対する意識の向上に努めた。また、事業所として、安全運行に心がけ、今年度も無事故であった。

避難訓練や消防署立ち合いの下に、夜間想定避難訓練を実施し、利用者や職員に対する安全意識の強化を図った。特に、長年の課題であった、施設全体の消防非常通報設備が改善され、消防署への専用通報回線を整えることができた。

### (4) 職員の専門性・資質の向上について

利用者の方に質の高いサービスを提供するため、「職員の年間研修計画」をたて、施設内外の研修や自主学習会等を意欲的に行い共に自己研鑽に努めた。

平成25年度も継続して、「障害者虐待防止法」の内容理解や「身体拘束禁止について」特に

学びを深めた。“人は財産。愛情あふれる人材”としてのスキルアップを意識し、知識や対人援助技術を高めるように努めた。

福祉サービス第三者評価受審については、意欲的に準備してきたが、受審事業所（特に児童養護施設に義務化）が過大であり、平成25年度中に実施できなかった。次年度における継続課題となる。

## 職員研修について

### 1. 施設内研修

聖書研究会：毎月1回

ルーテル健軍教会の牧師により、キリスト教の“愛と奉仕の精神”について基本的な姿勢を学んだ。

新任職員研修：4月16日～17日

牧師・園長・事務長・各部サビ管・主任・看護師・栄養士が担当した。

衛生講話：7月2日

市保健所に依頼し、「食中毒」のテーマで講話。特に“手洗いとうがい”の方法について学んだ。（新任職員、利用者含む）

防災関係：5月14日

健軍消防署より講師2名を招き、防火について講話。

8月20日

合同防災訓練 起震車体験（新任職員含む全体研修・利用者も参加）

AED研修：5月8日

日赤より講師の指導実施。新任職員含む全職員、利用者も参加する。

研修復講：施設内外研修に参加した職員が、研修報告して学びあう。

自主学習会

個別支援について

のぞみホームで働く福祉施設職員の心得

人権擁護・施設職員の行動規範について

体罰・身体拘束等について

リスクマネジメントについて

相談・苦情解決について

口腔ケアについて

非常設備の対応について

対人援助について

ケース検討会

感染予防について

より良い食事形態について

検診結果について検討会

AED研修

\*サビ管会議、職員会議、給食委員会、リスクマネジメント委員会を中心に学習会を行い、利用者一人ひとりが安心した生活ができるように配慮した。

### 2. 施設外研修

施設長関係研修

指定障がい福祉サービス説明会

事務・給食担当者研修

市指導監査説明会

サービス管理責任者研修

社会福祉施設セミナー

ルーテル法人会人材研修

人権・倫理委員会研修

安全運転管理者講習会	レクリエーション研修
集団回収団体研修	熊本県知的障がい者施設職員研修
九州セミナー職員研修	施設・きずなの会合同研修
苦情解決研修	リスクマネジメント研修会
行動障がいへの支援研修	防火管理者講習会
てんかん学研修	動作法研修
自閉症研修	法人理事研修
熊本県障がい者虐待防止法・権利擁護研修	労務管理者研修

## (5) 各種委員会の充実

職員の共通理解と連絡体制の充実及び危機管理意識の強化のため、次の会議等を実施した。

職員朝礼と連絡会：9時から（土・日・祭日を除く）

運営委員会：月1回・臨時的

施設長・事務長・児童サビ管・のぞみサビ管・各主任・調理主任

職員会議：月1回

全体職員会：年3回

職員ミーティング：毎朝9時（勤務スタッフ・実習生）

ケース検討会：ミーティング時・職員会・サビ管会議等）

給食・感染予防委員会：月1回（施設長・栄養士・調理員・給食担当者・利用者）

リスクマネジメント委員会：月1回（防火・車両・施設整備等）

施設長・事務長・主任・各部担当者

愛育会だより委員会：施設長・各担当者・後援会担当者

年間の活動報告を編集し、各関係機関に配布する。

## (6) 諸活動について

利用者一人ひとりのニーズや、個々の特性に応じた生活の豊かさを目指して、年間及び月間行事計画に沿って、社会参加の機会を提供した（資料）。

随時の買い物。理・美容院の利用。誕生日外出でのレストラン食事

木曜礼拝（月1回）

早朝礼拝（第2～5日曜日 午前6時30分～）

朝の会・散歩（毎日）

コンビニタイム（毎日曜日 おやつのお買い物）

カラオケ大会

バス旅行 など

## (7) 家庭との連携について

利用者やご家族からの相談に対しては、人権擁護を最優先に考え、いつでも相談に応じる体制を整え、相互理解を深めるように努めた。

利用者を中心に、より良い家族関係を築くため、家族会の開催や面会、各種行事等への参加・協力を得た。また、個別面談を計画的に実施した。

病気・けが・入院や体調不良等には、家族同伴の病院受診や、投薬は、随時連絡や話し合いの時間を取ることによって、情報の提供と理解を求めた。

#### ( 8 ) 短期入所・日中一時支援事業について

短期入所は、宿泊を伴う利用で、国(県)の事業。日中一時支援事業は、各市町村の事業であり、それぞれの施設と契約を結んだ上での利用開始となる。定期的なサービス利用者が増えた。在宅からの相談や、入所希望の見学や入所申請が増える傾向にある。

#### ( 9 ) 関係機関との連携について

平成25年4月から「障害者総合支援法」が施行された。各市町村の給付費担当者とのより良い事務処理ができるように情報交換に努力したが、事務処理が複雑であり、不安定な制度上の対応に苦慮した。制度上の対応がより適切にできるよう、関係機関や各関係市町村の担当者のアドバイスを頂きながら、連携を深め適切な対応に努力した。

#### ( 10 ) 福祉サービスに関する苦情解決について

利用者やご家族の方が、いつでもどんな小さな意見・要望・苦情などを、自由に申し出ができる環境を整える努力をした。

ホールの掲示板に広告し、相談・意見箱を設置している。

いつでもどんな小さな意見・要望・苦情など遠慮なく言える環境に努力した。

相談受付記録や、相談・苦情処理状況記録を整えている。

利用者の方々と第三者委員の方との行事等の交流・食事会を行い、理解を深めた。

また、記録等を公表しアドバイスを職員に受け意識向上に努めた。

苦情解決第三者委員会実施：平成25年4月15日、平成26年3月14日

#### ( 11 ) 開かれた施設づくりについて

年間を通じて各種行事を実施した。ボランティアを積極的に受け入れると共に、地域の人たちが当施設のことを知り、障がいを持つ利用者への理解を深めて下さっていることを感じる。

特に、ルーテル中3年生のボランティア体験や熊本県新規採用職員の「福祉現場体験研修」として6名の県職員。3名の新規採用教諭の研修を受け入れ、研修の機会を提供することで、福祉的理解と啓発“共に生きる生活の場”を体験していただいた。

また、月2回の「ふれあいランチ」(校区社協の依頼による高齢者への食事サービス)、熊本東ライオンズクラブと熊本ライトハウス愛育会との共同開催の「ふれあいバザー」「地域交流感謝の集い」「餅つき交流」など楽しみに待っていて下さる方も多く大好評である。地域に根を張る事業として、定着している。

熊本保護観察所の更生保護対象の少年少女との交流

ふれあいランチ・ボランティア(月2回 約70食)

メッツライフアリオ社員との餅つき交流(12月8日)

ふれあいバザー 東ライオンズクラブとの共催(11月3日)

地域交流感謝の集い 園庭を開放（6月 日）  
 泉ヶ丘小校区民生委員年末清掃奉仕  
 松下テクニカルサービス電気器具清掃奉仕  
 洗濯たたみボランティア（週1回 湖東更生保護女性会）  
 手引きボランティア（随時）  
 絵本の読み聞かせ奉仕（月1回）  
 アニマルセラピーボランティア  
 湖東中・桜木中ナイストライ  
 早朝礼拝（健軍教会の第一礼拝として）午前6時30分～  
 県内外の各大学、短大、専門学校や各種機関からの実習受け入れ

### （12）実習生等の受け入れについて

県内外の各大学、短期大学、専門学校、その他自主実習等を幅広く受け入れた。  
 将来、社会福祉の分野や教育機関で活躍する人材の指導、育成に努めた。

学 校 名	実 習 期 間	人 数
慈愛園新採用者見学研修	4月22日（月）	24名
桜木中ナイストライ	6月18日（火）～6月20日（木）	2名
湖東中ナイストライ	7月 9日（火）～7月11日（木）	3名
日本福音ルーテル神学校神学生	7月17日（水）～7月19日（金）	1名
	7月22日（月）～7月25日（木）	
九州ルーテル学院大学こども 専攻学生見学研修	7月20日（土）	33名
熊本市立小・中学校初任者研修	7月22日（月）～7月25日（木）	1名
	8月13日（火）～8月16日（金）	2名
県職員新任者研修	8月 1日（木）～8月2日（金）	6名
熊本学園大学	8月 7日（水）～9月13日（金）	3名
熊本社会福祉専門学校	8月19日（月）～9月9日（月）	2名
ルーテル学院大学	9月 9日（月）～9月13日（金）	2名
ルーテル学院中学3年生	9月12日（木）～9月13日（金）	62名
崇城大学薬学部	11月18日（月）～11月22日（金）	4名
尚綱短期大学	2月20日（木）～ 3月5日（水）	2名



( 1 3 ) 平成 2 5 年度実施行事 / 活動について

地域に開かれた施設づくりを目指し、各種行事を通して地域との交流を持つように努めた。

	行事・活動	地域関係・他	研修・他
4月	利用者会議 木曜礼拝 全体歓迎会 大掃除 絵本読み聞かせ 体重・血圧測定	ふれあいランチ 高野病院往診 アニマルセラピー 早朝礼拝	法人新任研修会 < 内部研修 > 新任職員研修会 第三者委員会 リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会
5月	家族会、相談支援説明会 利用者会議 天草バス旅行 木曜礼拝、誕生会 絵本読み聞かせ 大掃除、 体重・血圧測定	ふれあいランチ 早朝礼拝	< 内部研修 > A E D 研修 リスクマネジメント委員会 防災講話 聖研 給食・感染予防委員会
6月	地域交流感謝の集い 利用者会議 木曜礼拝 パナソニック清掃ボランティア 絵本読み聞かせ 大掃除) 体重・血圧測定	ふれあいランチ めぐみ幼稚園より花の日 桜木中ナイスライ 早朝礼拝	< 外部研修 > 消防署立会避難訓練 レクリエーション研修 九州セミナリオ研修 < 内部研修 > リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研、 臨時職員会、 給食・感染予防委員会
7月	七夕飾りつけ、カキ氷会 利用者会議 木曜礼拝 絵本読み聞かせ エスカルゴコンサート 誕生会 大掃除 体重・血圧測定	ふれあいランチ 高野病院往診 アニマルセラピー 九州ルーテル大生見学 湖東中ナイスライ 早朝礼拝	< 外部研修 > モチベーションアップ研修 < 内部研修 > 衛生講話 リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会

	行事・活動	地域関係・他	研修・他
8月	利用者会議 家族会 在園者外出 絵本読み聞かせ 火の国祭り外出 退職者お別れ会 大掃除 体重・血圧測定	ふれあいランチ 熊本県より新任研修  精神科検診 早朝礼拝	< 内部研修 > 消防署立会い防災訓練  職員・ケース検討会 給食・感染予防委員会
9月	利用者会議 木曜礼拝 絵本読み聞かせ 誕生会 落語招待  60周年記念式典 大掃除 体重・血圧測定	ふれあいランチ ルーテル学院中学体験学習 泉ヶ丘校区運動会 早朝礼拝	< 内部研修 > 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会 子供と家族の関係を支援するためのアセスメント研修
10月	利用者会議 木曜礼拝  絵本読み聞かせ 玉名バス旅行 熊本市障がい者運動会 大掃除 体重・血圧測定	ふれあいランチ 高野病院往診  アニマルセラピー 早朝礼拝	< 外部研修 > 行動障がいへの支援研修  < 内部研修 > リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会
11月	ふれあいバザー 利用者会議  教会バザー 木曜礼拝 誕生会 絵本読み聞かせ 大掃除 体重・血圧測定	ふれあいランチ めぐみ幼稚園感謝祭  崇城大より実習 ルーテル中・高感謝会 早朝礼拝	< 外部研修 > 苦情解決、第三者委員研修  < 内部研修 > リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会

	行事・活動	地域関係・他	研修・他
12月	利用者会議 成人病検診 大掃除 園芸療法 ライトハウスクリスマス祝会 クリスマスコンサート 絵本の読み聞かせ 書道連盟より寄付贈呈式 大掃除 体重・血圧測定	町内餅つき大会 アリコジャパン餅つき大会 地域清掃ボランティア エスカルゴ演奏会 早朝礼拝	施設職員・保護者合同研修 障害支援区分に係る研修 虐待防止・権利擁護研修 障がい者施設協会職員研修 ＜内部研修＞ リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会
1月	利用者会議 絵本読み聞かせ 大掃除 誕生会 体重・血圧測定	ふれあいランチ 高野病院往診 アニマルセラピー 早朝礼拝	＜内部研修＞ ケース検討会 リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会
2月	節分(豆まき) 家族会 バイキング食 絵本読み聞かせ 体重・血圧測定	ふれあいランチ 早朝礼拝	＜外部研修＞ 苦情解決研修 ＜内部研修＞ リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会
3月	利用者会議 木曜礼拝 卒業・退園・退職者の感謝会 活動報告会 絵本読み聞かせ 体重・血圧測定	ふれあいランチ 精神科検診 早朝礼拝	＜内部研修＞ 第三者委員会 リスクマネジメント委員会 職員・ケース検討会 聖研 給食・感染予防委員会